

1 研究主題 【1年目／2か年】

新しい時代で学び続ける児童生徒を育てる

～学びの積み重ねの実践とゆるやかなネットワークの構築～



2 研究主題・内容・組織等の設定理由

◆社会の要請

- ・「障害者の生涯学習」、「障害の有無にかかわらず、共に学び、生きる共生社会」が求められている。
- ・「Society5.0」「人生100年時代」で表される変化の激しい時代において、生涯にわたって主体的に学びに向かおうとする人の育成やICTの有効な活用が求められている。

◆過年度研究

- ・生涯学習力を高める教育課程の編成において縦（時間軸）と横（空間軸）を導けたことや、ワーキンググループでの研究推進が成果であった。
- ・児童生徒本人と、それを取り巻く環境への働き掛け、その変化の見取り、障害者の学びや社会参加の「社会モデル」を検証する。

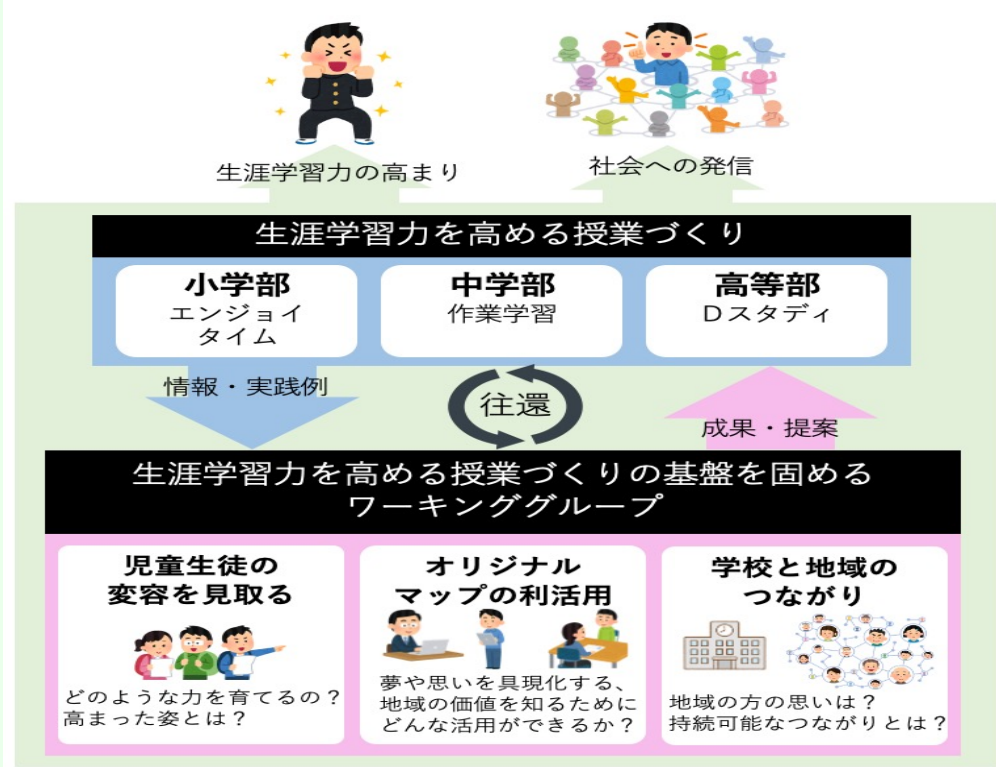
◆本校の実態と使命

- ・地域と連携した教育活動が行える可能性が高い。
- ・小規模校として、学部間の連携や所属学部以外の取組の周知等を行える利点がある。
- ・大学附属校として、10年後の社会を見据えた取組や研究実践、その発信が使命の一つとなる。

3 研究の目的

- ①児童生徒一人一人の成長（生涯学習力の高まり）
- ②児童生徒を取り巻く社会への発信

4 内容・組織



学校全体で生涯学習力を高める授業づくりを行なっていく（学びを積み重ねる）ために、授業づくりの要素である「評価」「ICTの活用」「地域資源の活用」について検討する。研究は、主として学部の垣根を越えたワーキンググループで行う。ワーキンググループでの研究では、日々の授業づくりの情報や実践例を基に研究を進め、成果や提案事項を日々の授業に生かす往還的な実践を行う。1年次は、ワーキンググループの提案を生かした授業を行うことで得られた児童生徒の変容や授業づくりの変化をまとめ、発信をする。